

佐久のキャラバン隊が 北陸(石川・富山)で物産販売・PR

十月 十七日(土) 俱利伽羅源平の郷(石川県)
 十月 十八日(日) サンセットパーク内灘(金沢市)
 十月二十四日(土) 万葉の里高岡(高岡市)
 十月二十五日(日) 道の駅うなづき(富山県)

北陸新幹線金沢延伸に伴い、佐久市内で製造されているお菓子や地酒、味噌、漬物、佐久鯉などの物産を販売・PRする「キャラバン隊」を、北陸の道の駅にて実施した。「プールの産地とは知らなかった。」「佐久鯉は知っている。今後行ってみよう。」など、その地域の人と交流し語ることで佐久地域をより身近に知ってもらうことができた。

佐久商議所北陸でPR活動

今月の
毎週末

信州北陸結ぶ 新幹線

佐久商工会議所(佐久市)は今月の週末ごとに、北陸地方の「道の駅」に向いて、

日本酒やコイの甘露煮、そば、リンゴなどを販売する。アンケートは、佐久市の知り合い、北陸地方の人たちの観光動向や、食べ物の好みを調査する方針だ。

17日は石川県津幡町の「倶利伽羅源平の郷」で、18日は同県内灘町の「内灘サンセットパーク」で販売・PR。24日は富山県高岡市の「万葉の里高岡」を、25日は同県から始めたいと説明。結果を翌日の道の駅「うなづき」を訪れる。佐久市内の酒蔵の生かしていく。



佐久をアピールするポスターと、PRする地酒やコイの甘露煮

▶ 十月十七日(土)
信濃毎日新聞掲載



▲大勢のお客様に
佐久の地場産品を販売・PR

中山道旅情への誘い 蕎麦猪口展の開催

佐久の工芸家と食文化のコラボレーション

中山道街道蕎麦「煮こじ蕎麦」を取り扱う信州佐久煮こじ蕎麦の会では、佐久の食文化と芸術文化のコラボレーションにより佐久の特徴と魅力を際立たせ、中山道を旅する人や販売店ほか地元の方々の巡り合いにより旅情を楽しんでいただくため、地元陶芸家の蕎麦猪口展を十一月一日〜二月二十八日の間、店頭で開催した。初めてお店を訪れる人も作品に興味をもち、店主らとの会話も弾んだ。



▶ 煮こじ蕎麦参加店の蕎麦猪口展



▲ぞっこん! さく市アートランドで蕎麦猪口のプレ展示

マイナンバー制度に関する講習会

基礎編 五月二十六日(火)六十名
 実務担当者編 九月十七日(木)八十二名

平成二十八年一月から運用が開始されるマイナンバー制度に関する講習会を「基礎編」・「実務担当者編」と二回に分けて開催した。基礎編では、社会保障や税・災害対策の分野に関する行政手続きで利用され、提供等に厳格な規制がかかる事などの概略が説明され、実務担当者編では具体的なマイナンバーの収集、利用、管理、保管についての対策が説明された。



▲八十名を超える参加者が聴講

新進気鋭塾 将来の異業種・企業間連携に繋がる 企画立案でスキルの向上

開催：五月から十二月 場所：当所・三才山病院他

「新進気鋭塾」(塾長・白井汪芳 佐久大学信州短期大学部学長)は、平成二十七年年度長野県「元気づくり補助金」事業を活用して、「介護における地域課題解決の企画立案・推進」事業に取り組んだ。

各方面の有識者による講演会三回開催(延二百六十六名参加)、関連施設の調査見学会三回(延六十三名参加)、参加メンバーによる企画研修五回(延八十名参加)により「介護」における課題を絞り込み、企画コンセプト案をまとめ課題解決のスキル向上を図った。



▲参加メンバーによるグループワーク

創業者クラブ専用Facebookを公開

日時：五月二十日(水)
 場所：佐久情報センター 参加者十六名

チラシや広告掲載など費用対効果が見込めず悩んでいる会員も多いことから、FacebookをOから作る、ビジネスに活用した成功事例とその秘訣などのセミナーを開催した。

参加者は「Facebookが効果的な情報発信に繋がることを知って早速やってみよう」と意欲的になり、セミナー後、みんなでシェア(助け合い)することでお互いの情報発信に役立てようと創業者クラブ専用Facebookを公開した。



Facebook講習会での事例を交えた説明

夢に挑戦!

めざせ起業家!! 佐久創業塾を開催

開催：十一月(全五回)
 場所：当所会館

「創業」をご検討されている方、または興味をお持ちの方を対象として、事業を開始するための心構え・ビジネスプランの作成・融資制度や事例の紹介など創業に役立つ実践的知識等を習得するための「創業塾」を開催した。

創業時に直面する課題として資金の調達や、事業計画書の作成、各種手続きなどの知識やノウハウの不足が挙げられる。創業塾は地域の潜在的な創業者を掘り起こしていくことを目的として五回の体系的な講座を開催。新規創業希望者及び創業後間もない方十六名が受講した。



三十年の節目を新たなスタートの年に

女性会創立三十周年記念式典

日時：十一月二十五日(水) 佐久グランドホテル

女性会では創立三十周年記念式典を開催した。これまでの活動記録をまとめた記念パンフレット、エコバック、記念品が配られ、記念講演会、記念式典、祝賀会を開催した。

記念講演会では、御来賓、女性会会員、一般参加者も含め約九十名が参加し、女性会が日頃行っているエコ活動を題材に、落語家 林家うん平師匠による「『もったいない』を身近なことから自分のスタイルではじめよう」、The Double Roleによるジャズ演奏、落語&ジャズのコラボレーションを楽しんだ。

記念式典では、会頭、長野県商工会議所女性会連合会会長の山浦悦子様より御祝辞をいただき、女性会三十年のあゆみを懐かしい写真と共に振り返った。



▲多くの仲間と協力しあい無事三十周年を迎えた

金沢の歴史や文化に触れました！ 女性会 石川全国大会

第四十七回全国商工会議所女性会連合会石川全国大会が金沢市で行われ、当所女性会からは十四名で参加。全国各地の女性会会員約三千二百名が参加し盛大に行われた。

北陸新幹線開業により大きな賑わいを見せている金沢市。ひがし茶屋街や尾山神社を散策し、加賀百万石の歴史に触れ、平日にもかかわらず多くの人々が賑わい、影響力を強く感じる視察研修となった。

全国大会では「能とオーケストラのコラボレーション」で金沢の伝統芸能の観覧、記念講演会ではビタミンちくわやカニ風味ちくわを開発している株式会社スギヨ 代表取締役社長 杉野哲也氏より講演をいただき、距離のハンデキャップを補うためや他社商品との差別化を図るための商品開発についての講演が催された。



「福祉制度キャンペーン」

基準保険料達成率部門 三連覇を達成

会員事業所の皆様に日頃ご協力を頂いております。共済制度キャンペーンにおいて、お蔭で当所が基準保険料達成率部門のDグループで全国一位の成績となり三連覇を達成。都道府県部門の保険料部門で長野県が十一連覇を成し遂げました。ご協力有難うございました。

【商工会議所の部】基準保険料達成率部門

グループ別	会員数	順位	CCI
D: 2,000以上・3,500未満		1	佐久
A: 1,000未満		1	千曲
B: 1,000以上・1,500未満		1	下諏訪

【都道府県の部】基準保険料達成率部門

順位	都道府県	順位	都道府県	順位	都道府県
1	佐久	2	秋田	3	福島

社員の健康管理は万全ですか 集団健康スクリーニング実施

日時：一月～二月
場所：社会医療法人 恵仁会

社員の健康診断として多くの事業所に受診いただいている、集団健康スクリーニングを本年度も、社会医療法人恵仁会のご協力を頂き一月～二月に実施した。受診者は年々増え、本年度は一一八事業所六七六名が受診した。



青年部

十二組のカップルが誕生

「佐久っくと婚活パーティー」

日時：九月十二日(日)

北陸女性と佐久地域の男性による「佐久っくと婚活パーティー」を開催した。婚活の一週間前に男性参加者を対象にした「男子力アップ講座」を開催し、女性への話し方やエスコート、身だしなみなどを学び当日に備えた。申込みは男女共に定員を大きく超え、TV局や北陸の新聞社も同行取材するなどメディアにも多数取り上げられた。参加者は市内観光をしながらフリータイムを過ごし、マッチングシートで意中の相手を選んだ。男女各四十名での婚活は十二組のカップルが見事成立した。



▲円になって一分間のフリートーク

来月「佐久っくと婚活パーティー」

〈長野〉佐久商工会議所は、北陸新幹線金沢延伸開業の記念イベントとして、石川、富山両県の独身女性と佐久市内在住の独身男性を対象にした婚活イベント「佐久っくと婚活パーティー」を、9月12日に開催する。

当日は午前中に金沢、富山の両駅から女性参加者に北陸新幹線で佐久平駅に来てもらい、佐久市内の会場で男性参加者と対面、市内で観光や交流パーティーなどを行う。帰りは午後8時すぎに佐久平駅を出発して新幹線で戻る。

参加費は女性3千円、男性6千円。往復の新幹線代は主催者負担。募集人数は男女各40人ずつ(先着順)。男性は9月5日の事前講習への参加が必須。対象年齢の目安は25〜45歳。申し込み締め切りは8月21日。問い合わせは同会議所青年部 ☎0267・62・2520。



長野

北陸新幹線金沢延伸を記念して、佐久商工会議所青年部(長野県佐久市中込)は、石川県や富山県の女性、佐久地域の男性による婚活パーティーを九月十二日に初めて開催

佐久市内を観光婚活パーティー

来月12日開催 参加者を募集

する。今月二十一日まで、身だしなみや話し参加者を募集している。方などを青年部に所属する。募集対象は二十五〜四十五歳までの男女、美容師らが助言する。十五歳ぐらいまでの男女、青年部にいる四十五歳八十人。佐久市内を観光、以下の経営者の約三割して親睦を深め、カップルが未婚という。商議所のル成立を目指す。北陸、担当者は「佐久の魅力を紹介する女性のため、知ってもらい、課題の後新幹線佐久平駅までの運継者対策にもなれば」と、実は商議所が負担する。期待している。問い合わせは九月五日に商議所、同商議所 ☎0267(62)2520へ。所である「男子力アップ67(62)2520」へ。講座への参加が必要と(長野支局・竹田弘毅)

▲8月11日(火)北陸中日新聞

▲8月16日(日)産経新聞

- 7月11日「北日本新聞」
- 7月22日「北國新聞」
- 7月23日「日商地域最前線HP」
- 8月7日「佐久市民新聞」
- 8月11日「北陸中日新聞」
- 8月13日「信濃毎日新聞」
- 8月15日「東信ジャーナル」
- 8月16日「産経新聞」
- 9月12日「NHK長野放送局」
- 9月14日「NHK長野放送局2回目」
- 9月14日「長野放送」
- 9月16日「中日新聞」
- 9月25日「日経新聞」
- 日商「石垣」1月号
- 日本商工会議所ニュース

会員が先生に！ 地域のお仕事児童に紹介

日時：八月二十九日(土) 場所：佐久平浅間小学校

お店を知ってもらい、将来なりたい職業への憧れや地元での就職に夢をもってもらうため、青年部会員十四名が講師となり、生花や電器、美容室など自分の職業を分かりやすく児童へ紹介する職業体験スクール(まちゼミ)を実施しました。

夏の終わりに児童の記憶に残る楽しい授業となった。



▲「みんなが可愛らしくなった。魔法みたい」と感動

中部横断自動車道の一日も早い全線開通を経済懇談会総会

日時：九月三日(木) 場所：甲府



▲決議文の早期全線開通を訴える榎山会頭

沿線商工団体等で組織する「中部横断自動車道経済懇談会」総会が開催され、榎山会頭が決議文を朗読。このうち長野県・八千穂IC(仮称)〜山梨県・長坂JCT(仮称)間は未だに基本計画区間のままであるため、一日も早い全線開通に向けて整備計画区間への早期格上げを図ることなどが決議された。

今後とも地域間のさらなる連携強化を図るとともに、関係機関・諸団体に建設促進運動を力強く展開していくことが必要とされる。

小海線全線開通八〇周年記念フェスタ 家族連れから鉄道ファンまで

日時：八月八日 場所：中込駅及び中込駅前グリーンモール

JR小海線の前身の佐久鉄道が開業一〇〇周年、小海線が十一月に全線開通八〇周年を記念し、記念フェスタが開催された。

当所でもこのイベントを盛り上げるため「オカゴ」の体験搭乗や「煮こじ蕎麦」を提供し、大変賑やかな一日となった。



▲多くのお客様で賑わう中込駅前

安養寺ら〜めん祭り&「ローソン」レンジ麺も同時販売

信州佐久安養寺ら〜めん会ではスタンプラリーでオリジナルがもらえる「安養寺ら〜めん祭り」を開催期間限定でコンビニ大手ローソンでもレンジ麺の安養寺ら〜めんも販売した。

24 地域 信州ワイド

12月1日 火曜日 (平成27年)

安養寺ら〜めん スタンプラリー 佐久

きょうからローソンは期間限定販売

佐久市の14店舗でつくる「期間限定の安養寺ら〜めん」を同時に販売開始になる。同じ販売開始になる。安養寺ら〜めんを普及し、寺ら〜めんを食べる楽しさを広げたい。佐久市へのお礼として、2008年から取り組む「安養寺ら〜めん」の魅力を、ローソン市内のラーメン店に展開してアピールしておく。佐久市の安養寺ら〜めんを、ローソンで味わうことができる。ローソンでは、参加店舗で注ぎ、ローソンのラーメンの台紙に張り付ける。五ヶ集めるとら〜めんももらえる。

ローソンでは、ローソンで味わうことができる。ローソンでは、参加店舗で注ぎ、ローソンのラーメンの台紙に張り付ける。五ヶ集めるとら〜めんももらえる。

ローソンでは、ローソンで味わうことができる。ローソンでは、参加店舗で注ぎ、ローソンのラーメンの台紙に張り付ける。五ヶ集めるとら〜めんももらえる。



二〇一五そろばんグランプリ長野

ジュニアチャンピオンに梅原伊織里くん (中佐都小三年生、白田経理学校そろばん教室)

そろばんグランプリ・長野

長野県珠算連盟 長野県珠算連盟 長野県珠算連盟



▲そろばんグランプリ全国大会に出場した梅原伊織里くん

脳を活発に働かせ思考力や判断力向上などの効用をアピールするため、毎年「そろばんグランプリジャパン」全国大会が開催されているが、五月に開催された長野県大会で中佐都小三年生の梅原伊織里くんがジュニアチャンピオンの栄冠に輝いた。

八月の兵庫県での全国大会では残念ながら入賞とはならなかったが、今後の活躍に期待がかかる。

宴しよ！毎月一日は

日本酒でカンバイPRポスター

「佐久は地酒で乾盃キャンペーン」として、年末年始に向け「女子会」をコンセプトにしたポスターを作成した。佐久の文化といえる日本酒を味わうべく、地元の飲食店・ホテル・旅館の利用促進につなげる狙い。

「佐久の新酒で花見楽しんで」

酒造協会などPRのポスター



地酒PRのポスター
を手にする土屋さん

佐久地方の酒蔵でつくる佐久酒造協会(佐久商工会議所)優勝賞で、県酒造組合の「佐久の地酒PR大使」も務める佐久穂町の主婦田井志織さん(33)が、居酒屋のカウンターで酒造を手に入れている。

四月十八日(土)信濃毎日新聞

『いっこ、いっこ』運動で 食べ残しを減らしましょう

十五分 十五分

宴席の最初の十五分間と中締め前の十五分間はお酌にまわるのを控えて自分の席で食事を楽しましましょう。そして料理の食べ残しを減らそうと「いっこ(十五分)、いっこ(十五分)運動の推進を始めました。飲食店からは「料理人が作った料理が残ることが少なくない、やりがいにもつながっています」と大変好評を頂いている。



佐久の地場産品をコミカルに紹介する 鯉侍ポスター

鯉侍ポスター

鯉侍が活躍するポスターシリーズその四、その五として、佐久の地場産品(ウォーキングボールや地酒、煮こじ蕎麦、佐久鯉等)をPRするポスターを作成した。お店や事務所に貼っていたり、会員へ配布した。



作り手の顔や思いが見える 「信州佐久自慢の一品」



▲佐久市自慢の地場産品が掲載された冊子

和洋菓子や佐久鯉加工品、味噌、製麺、漬物、地ビールなど地元で生産された加工品二十三品を紹介PRする冊子「信州佐久自慢の一品」の冊子を作成した。

冊子は北陸での物産販売にあたり作成したもので、作り手の顔や思いが見える内容になっている。気に入った商品を友達や知り合いに紹介できるポストカードがついているのが特徴。全五十四頁のオールカラー。